

1月8日
皆さん準備は進めていますか
地上デジタル放送に関する説明会



総務省地上デジタルテレビジョン放送受信センターによる地上デジタル放送(地デジ)受信説明会が、1月7日から8日にかけて、町内3カ所で行われました。2011年7月に地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行されることを受けて行われたものです。地デジの受信方法のほか、地デジを利用した悪徳商法の事例紹介なども行われ、集まった皆さんは熱心に聞き入っていました。

地デジの映像を実際に体験

1月6日
防火・防災意識を新たに
川湯消防でも出初式を開催



川湯消防出初式が1月6日、川湯消防庁舎前で行われました。式には、消防職団員や来賓関係者らが参加。新調した、釧路管内一の高さを誇る約8メートルの竹はしごの上で登り手は華麗な技を披露し、見物していた皆さんから拍手喝さいがわきました。屋内行事では、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火・防災の意識を新たにしました。

大雪の中で披露されたはしご乗り

1月16日
厳しい寒さあつての幻想的なイベント
川湯温泉街でダイヤモンドダストパーティー



ダイヤモンドダストパーティーが、今年も1月16日から川湯園地で始まりました。ダイヤモンドダストパーティーは、氷点下20度以下で見られる氷の結晶を実際に発生させ、皆さんに体感していただく恒例のイベントです。この時期、会場周辺には約20,000個のイルミネーションが飾られ、輝きながら舞い降りる氷の結晶をより際立たせます。2月28日までの毎日、21時～21時30分に行われていますので、皆さんもぜひ、幻想的な光景を楽しんでみませんか。

幻想的な輝きを見に来ませんか

1月16日
手遊びやわらべ歌を楽しもう
河田由美子さんによる読み聞かせ講座



読み聞かせ講座「いっしょにあそび!子どもと楽しむ手遊び・わらべ歌」が1月16日、公民館で開催されました。講演には、親子連れや幼児教育関係者など25人が参加。釧路市「おはなしネットほんほん」代表の河田由美子さんを講師に迎え、親子で手軽にできるわらべ歌や手遊びなどを学びました。河田さんは「わらべ歌を親子のコミュニケーションに役立ててもらえたらうれしい」と話していました。

わらべうたを紹介する河田さん(中央右)

1月23・24日
多彩な催しで観光客らをお出迎え
S L冬の湿原号が川湯まで延長運行



S L冬の湿原号(釧路～標茶間)が、今年も運行を開始しました。1月23日、24日には川湯温泉駅まで延長運行され、多くの鉄道ファンなどでにぎわう中、さまざまなイベントが行われました。摩周駅での歓迎セレモニーでは、町民体験で乗車する子どもたちが機関士と車掌、駅長に花束をプレゼント。摩周湖観光協会の皆さんが、23日には摩周駅でホットミルク、24日には川湯温泉駅でスープの無料配布を行いました。車内では、てしかがえこまち推進協議会のえこまちJr.の子どもたちによるガイドが行われたほか、川湯温泉駅前ではガイドによる硫黄山の歴史説明や雪遊びも行われました。

摩周駅での歓迎セレモニー

1月21日
道路では絶対に遊びません
川湯保育園児が交通ルールを学ぶ



川湯保育園(清水節子園長)で1月21日、交通安全教室「こぐまクラブ」が行われました。こぐまクラブには、町内の幼稚園・保育園児が加入し、月に一度のペースで交通安全について学んでいます。この日、川湯保育園では、雪道での車の急ブレーキを見学。止まり切れなかった車にダミー人形がはねられる様子を見て「怖い」と涙ぐむ子も見られましたが、雪道では特に車は急に止まれないことを確認し、絶対に道路では遊ばないと約束しました。最後に、警察の方からお話を聞いて終了しました。

人形が車にはねられる様子を見学

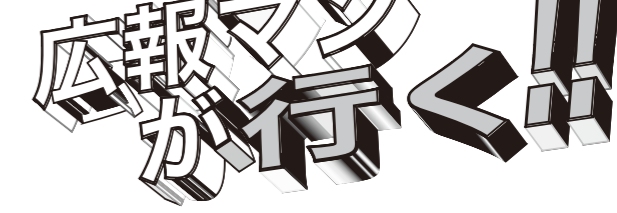
12月15日
住宅用火災警報器の早期設置を呼び掛ける
防火管理協議会が普及活動



弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長・会員100人)はこのほど、平成19年から3年計画で行っていた、会員への住宅用火災警報器の配布活動を終了しました。この事業は、住宅用火災警報器の普及啓発を目的に、同協議会の全会員に配布を行っていたものです。筒井会長は「配布事業を行っていく中で、火災予防の意識を高めていくことができて良かった。火災の死傷者のない町づくりにつながれば」と話していました。

火災警報器を会員に手渡す筒井会長(左)

カメラスケッチ
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。

企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)



12月24日
事故のないまちづくりを再確認
平成21年度弟子屈町交通安全大会



弟子屈町交通安全運動推進協議会などの主催による弟子屈町交通安全大会が12月24日、公民館で行われました。大会には、自治会関係者など約50人が参加。初めに、町内の交通死亡事故ゼロが11月15日で500日を達成したことを受け、下山保広弟子屈警察署長から、町交通安全運動協議会に感謝状が贈られました。また、町交通安全協会による30年以上無事故無違反の方などを表彰する優良運転者表彰が行われ、19人の方が表彰されました。最後に「飲酒事故根絶に向けて」と題した講演が行われ、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

優良運転者を表彰

12月22日
9,000球の電球が冬の夜空を彩る
シオンと弟小生によるイルミネーション点灯式



まちづくり団体シオン(松田浩徳代表)と弟子屈小学校(伊藤新一校長)6年生によるイルミネーション点灯式が12月22日、弟子屈小学校のフェンス前で行われました。少しでも町を明るくしたいという思いから行われているもので、今年で7回目です。シオンのイルミネーションと、弟小生がチューブ状のライトを折り曲げて製作した電飾が披露されました。発光ダイオードなど電球の数は約9,000個。3月中旬まで点灯され、冬の夜空を彩ります。

イルミネーションの前で記念撮影

1月4日
無事故・無火災を祈願して
弟子屈消防の出初式



釧路管内のトップを切って、弟子屈消防の出初式が1月4日、役場駐車場などで行われました。消防力の充実・強化と、消防職団員の士気高揚を目的に、毎年開催されています。式には、消防職団員や来賓など約100人が出席。役場駐車場で観閲式を行った後、消防団ラッパ隊を先頭に、消防車両10台を含む消防隊が中央通りを行進しました。消防隊の雄姿に、沿道からは拍手が贈られていました。また、長く消防活動に尽力した消防団員の表彰も行われました。

弟子屈消防の観閲式

12月25日
地域の皆さんの役に立ちたい
協和建設が防護柵撤去で社会貢献



(株)協和建設(高橋政廣代表取締役)の皆さんが12月25日、見晴台団地の防護柵の撤去作業を行いました。同団地の柵は例年、雪で倒れてしまうため、撤去して冬期間保管し、春に再び設置しています。冬の撤去と春の設置は、同社が社会貢献活動の一環として行っています。参加した皆さんは、手際よく作業を進めていました。

丁寧に作業する皆さん